



199 HISASHI
MATSUMOTO

2013/11/21

アフリカ 地域研究会

200

SHIGEKI KAJI
KAZUHARU MIZUNO
ITARU OHTA
JUN IKENO
MITSUO ICHIKAWA

0

2013/12/19

<http://jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/>

会場：京都大学稲盛財団記念館3階 大・中会議室、318セミナー室 参加無料、申込不要

201

KAGARI
SHIKATA

2014/1/23

202 RITSUKO
MIYAMOTO

2014/2/20

第199回
2013年11月21日(木)
15:00~17:00
中会議室

日本で「黒人」として生きる - 在日アフリカ人のエスニック・ビジネス
松本 尚之 (横浜国立大学教育人間科学部 准教授)



日本に暮らすアフリカ人の数は1990年代以降、急速に増加しており、近年注目を集めるようになってきた。言われてみれば日々の暮らしのなかでアフリカ系の人々を見かけることが多くなった、と感じる人もいることだろう。本発表では、彼らに在日アフリカ人の暮らしぶりについて紹介する。なかでも、90年代から00年代半ばにかけて隆盛を極めた服飾ビジネスを取りあげ、日本で「黒人」として生きる彼らの生活戦略を考察する。



第200回
2013年12月19日(木)
15:00~17:00
大会議室

アフリカ地域研究会、第200回記念特別企画

現代アフリカ地域研究の多様性とその展望

現代アフリカを理解するためのアプローチは多様であり、地域研究はその多様性を含んで発展してきた。1986年から開始されたアフリカ地域研究会200回を記念し、4人の研究者がそれぞれの立場から自身のアフリカ地域研究をふり振り返り、ディスカッションを交え、今後のアフリカ地域研究を展望する。



言葉から心へ

梶 茂樹

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 教授)

アフリカの自然から見つけた
おもしろさと驚き

水野 一晴

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 准教授)



アフリカにおける紛争解決と
共生の実現にむけて

太田 至

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 教授)

北部タンザニア、
都市近郊農村の20年

池野 旬

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 教授)



第201回
2014年1月23日(木)
15:00~17:00
セミナー室(318室)

H24年度京都大学
アフリカ研究出版助成記念講演
H24年度総長裁量経費(若手研究者に関する出版助成事業)

アフリカ熱帯雨林における焼畑の潜在力
四方 箒 (東京大学大学院農学生命科学研究科 特任研究員)

アフリカ熱帯雨林の焼畑は森林破壊の要因として問題視されてきた。また近年では、市場経済の浸透に伴う商品作物栽培の導入が、さらなる森林の農地化を促進しているといわれ、地域の経済発展と持続的な環境利用との両立



が課題となっている。本発表では、カメルーン東南部の事例を通して、焼畑での農業生産技術とその生態基盤となる熱帯雨林との関係を明らかにし、焼畑という営みのなかにこそ、人びとの生活の安定と向上を実現し、森林景観の多様性を創出・保全する潜在力があることを示したい。

おいて
ろう者た
ちほどのよ
なコミュニケー
ション
手段を用いて
いるのだろうか。
実際の映像を用
いながら考察する。



ディスカッション: 市川 光雄

(京都大学名誉教授、
日本モンキーセンター所長)

音声コミュニケーションの手段として使えないうちは、手と表情を用いる手話を発達させた。手話は音声言語と並ぶ自然言語である。世界には140ほどの手話があると報告されている。ケニア手話そのひとつである。多言語地域の代表格であるアフリカに



アフリカの障害者のコミュニケーション
—ケニア手話を事例に
宮本 律子 (秋田大学教育文化学部 教授)



第202回
2014年2月20日(木)
15:00~17:00
中会議室